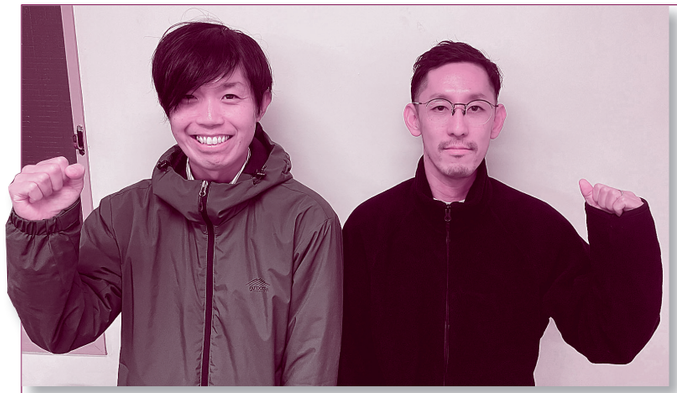
「組合って楽しいよ」と魅力を伝えて仲間づくりに

寝屋川市職員労働組合

執行委員長　竹村　明紘さん（防災課）
書記長　中林　良太さん（保健予防課）



竹村委員長（右）と中林書記長（左）新体制でスタート

「地元の交野市で募集がなくて」（竹村）、「生まれ育った所だったから」（中林）と、寝屋川市で職員採用されました。同世代の二人から「自治体職場で仕事のやりがい」「市職労運動の活動と課題」など、何かと厳しい局面でも、明るく前向きに語っていただきました。

困難な自治体職場でも市民の笑顔で仕事にやりがい

自治体の仕事にやりがい感じますか？

竹村　市役所の仕事は複雑です。たとえば「市の公園をつくる」と決まっても、打ち合せや手続きなど関係者との調整が多くて、市民の要望にも応えたいです。安全といのちを守る仕事にやりがいがあります。今まで防災訓練は各地域単位でしたが、昨年から市全域対象の「市民大訓練」として、約8000人が参加して成功しました。

中林　窓口対応で身近で深刻な実態が伝わります。職場では住民の健康増進をはかるため感染症の予防対策、検査や相談窓口など多岐にわたり、チームワークで連携しながら業務をしています。

住民からの苦情対応などは多いの？

竹村　強い雨が降ると住民から「早く避難所の開設を」と電話がかかります。避難指示がない中で「現段階で（避難所を）開設しない」と説明しても納得してもらえず、苦情応対も大変です。

中林　窓口業務でも苦情など受けます。住民が心配なのは理解できるので、丁寧な応対を心がけています。

寝屋川市職労結成70周年記念親睦交流会（7月25日・職員会館3階）では、多くの組合員と家族が参加して、手づくり「ミニ縁日」「抽選会」など楽しみました

市職労でやりたいことは何ですか？

竹村　もっと仲間を増やしたい。「要求実現のために」と組合加入を訴えても、なかなか振り向いてくれません。「市職労は楽しいよ」と、組合の魅力を伝えられるアプローチが重要だと思います。

中林　7月の「結成70周年記念交流会」は、組合員や家族が参加して、「ミニ縁日」「抽選会」など楽しく交流が深まりました。組合主催のイベントを通じて、労働組合の必要性や市職労の良さが実感できる場をつくりたいですね。

竹村　組合活動では何よりもコミュニケーションは不可欠です。職場で、若手職員がネットでの情報収集などを上手く仕事で活用しています。今後の組合運動でも新たなことにチャレンジしたいです。

みんなの力で切実な要求実現めざそう

輝け憲法！平和といのちと人権を 11・3おおさか総がかり集会

「おおさか総がかり集会」は11月3日（文化の日）、中之島公園（女神像前）で開催され、2500人をこえる参加で盛り上がりました。集会後は御堂筋を北上して扇町公園まで元気よくパレードしました。

文化の日　1946年11月3日に日本国憲法公布を記念して祝日に制定。「文化の日」として日本国憲法が平和と文化を重視していることを意味しています。

仲間を増やして職場も組合も元気に

2025秋の組織・共済拡大交流集会

大阪自治労連は10月19日、「2025秋の組織・共済拡大交流集会」を大阪市内で開催し、「未来につなぐ、仲間とつながる」をテーマに、グループでトーク交流を深めました。それぞれの取り組みを共有しながら「単組で仲間を迎えよう」と決意を新たに固めあいました。

おおさか自治体の仲間　発行：大阪自治労連（大阪自治体労働組合総連合）　2025年11月15日　No.418
〒530-0041 大阪市北区天神橋一丁目13番15号
大阪グリーン会館４階　☎06-6354-7201　FAX06-6354-7206
E-mail:mado@osaka-jichiroren.jp
URL:http://www.osaka-jichiroren.jp
発行人／坂田　俊之　編集人／有田　洋明
毎月15日発行（１部10円）組合員の購読料は組合費に含まれています。